

耕さない田んぼには生きものがいっぱい



「耕さない田んぼでイネつくりの市民農園」は、①イネつくりを体験したり、お手伝いしたり、実践したり、②田んぼの生きものたちに出会ったり、③南阿蘇の自然環境に抱かれたり、などの機会への招待状です。

イベントは毎月開催されますが、都合がよい月だけの参加でも、支障がない設定になっています。

設定される開催日は、その月ならではの耕さない田んぼのイネつくり作業の目的や概要の説明がありますが、それらの設定日以外でも各自の都合に合わせて田んぼに訪れ、イネの生長や田んぼの生きものたちを観察し、必要に応じた田んぼや畦の管理を通して、イネの生長に手を貸してあげてください。

手を貸してあげた分だけ、晩秋の収穫物（玄米）を美味しくいただけることとなります。

南阿蘇は世界一のカルデラの中に位置し、四季を通じて観光客が訪れる、豊かな自然が魅力的な高原です。

そんな自然豊かな環境で、生きものがいっぱいになる耕さない田んぼで、体験するイネつくりは、体験する喜びだけでなく、田んぼの生きものたちの観察を通して「自然の厳しさ」や「自然のたくましさ」を実感したり、生きものが織りなす物語に感動したりと、心身共に癒される機会がてんこ盛りです。

【メモ】「耕さない田んぼのイネつくり」とは、土の中をすみ処にする生きもの々の環境を壊さないために**耕さない**、生きもの々の生息環境を維持するために、**ほぼ年中、水を張り続ける田んぼ**でのイネつくりです。農薬を一切使わないことはもちろんですが、化学肥料どころか、有機肥料さえも使わないイネつくりです。

| | | | |
|---------|---|---|---|
| イネつくり区画 | 例① | 玄米収量：60kgコース 担当面積：約150㎡ 入園費：48,000円 備考：担当する稲株は、約2,600株になります。 | 主催者プロフィール ◇1958年、沖縄県与那国島で生まれ、高校まで沖縄で育つ。東京で大学を卒業後、IT業界に20数年間勤める。その後、断ち切れない自然環境への憧れを具体化するため南阿蘇村に移住。 ◇2008年に千葉県神崎町で開催された自然耕塾に通いつつ、南阿蘇の田んぼでイネつくりを始めて、「耕さない田んぼのイネつくり」歴6年目。 ◇耕さない田んぼのイネつくり塾(自然耕塾@南阿蘇)3年目。同塾の修了者は18人。 ◇今年も約1haの田んぼでイネつくりに挑戦する。イネつくり農家としては、まだまだ駆け出しだが、耕さない田んぼで育まれる生きもの達の物語に魅了され、耕さない田んぼのイネつくりの普及活動にも時間を割きながら、イネつくりに奮闘中。 |
| | 例② | 玄米収量：30kgコース 担当面積：約75㎡ 入園費：30,000円 備考：担当する稲株は、約1,300株になります。 | |
| | 通信費用：800円（FAX or pdfファイルを添付したPCメールを受信できない方のみ） 担当面積：ご希望なされる面積（収量）で区分けしますので、ご相談下さい。 | | |
| | 注記① 参加費用は申し込みグループ単位の費用になります。 ② 耕さない田んぼまでの交通の確保と交通費は参加者のご負担になります。 ③ 玄米は10 or 20kg/袋単位にて引き渡されます（宅配時の費用は別途）。 ④ 担当面積や株数は目安で、実際の区画面積や株数とは少々異なります。 | | |
| 募集組数 | 数組（家族や友人同士、または個人で参加が可能です） | | |
| 開講期間 | 2013年03月～11月（収穫祭） | | |
| 市民農園 | 南阿蘇村の耕さない田んぼ | | |
| 講義 | はらっぱ・ラボの一角にて | | |
| 主催と連絡先 | はらっぱ・ラボ 入請舩 憲市(いりうけます けんいち) 869-1411 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰4486-19 Keitai : 090-1194-0361 / FAX : 0967-67-3278 E-mail : k.iriukemasu@gmail.com | | |

「耕さない田んぼでイネつくりの市民農園」へ応募時の留意点（1）

- ① 農機（播種機、田植機、コンバインなど）作業の見学や実習だけでなく、農機具（カマやクワなど）での慣れない作業を伴うため、「各々が傷害保険へ加入している」ことが入園条件になります。
- ② グループの構成員数に制限はありませんが、申込時にお届け以外の方の参加は安全確保の観点から、固くお断りします。
- ③ 小学生以下の方の参加も可能ですが、責任者の同伴が入園条件になります。また、中・高校生の単独またはグループでの参加については、保護者の同意が入園条件になります。
- ④ 募集期間は田植えが始まる前までですが、それまでに「南阿蘇の耕さない田んぼ見学ツアー」に参加していただけることを入園条件にしています。尚、「南阿蘇の耕さない田んぼ見学ツアー」の参加費用は、入園費の一部として組み込まれます。
- ⑤ 「耕さない田んぼでイネつくりの市民農園」への入園は、「応募時の留意点」の記載内容に同意の上、同入園申込用書に必要事項を記入し、お申し込み下さい。尚、申込用紙は下記のURLからダウンロードしていただくか、主催者へご請求をお願いします。
→ <http://www.halappalab.com/myfarmland.html>

| 2013年 耕さない田んぼでイネつくりの市民農園の予定表 | |
|------------------------------|---|
| 月日・時間 | イネつくり作業のテーマ (内容) |
| 2012年 10月27日(土) | 「南阿蘇の耕さない田んぼ見学ツアー」に参加(注記:このツアーは来春も開催されます)。詳細は同ツアーのパンフレット及び募集要項の参照をお願いします。 |
| 2013年03月 | 3月のテーマ:種蒔き、育苗 種蒔き 苗箱に土を入れ、イネの種を蒔く作業 低温育苗 寒さを利用した育苗で、草丈約20cmで5枚の葉を持つ苗を育てる |
| 2013年04月 | 4月のテーマ:田んぼ整備、水草除草 田んぼ整備 休田期間中にモグラなどが掘った穴や水漏れ箇所の整備、田面の均平の確認 水草除草 暖かくなって芽が動き出した水草の除草 |
| 2013年05月 | 5月のテーマ:田植え、補植、除草 田植え 手植え&耕さない田んぼ専用の田植機を使った田植えの見学 苗の補植 3本/株、54株/坪になるように植えつけられた苗を補正 水草除草 次々と芽をだす水草を鎖除草器で除草し苗の生長を助ける |
| 2013年06月 | 6月のテーマ:除草、生きもの調査、ヘイケボタル観賞 |
| 06月08日(土) | 懇親会 17:00-19:00 懇親会(塾生と合同、参加費別途) ホタル観賞 19:00-20:00 田んぼに舞うヘイケボタルと支流沿いのゲンジボタル観賞(塾生と合同) |
| 06月09日(日) | 生きもの調査 10:00-16:00 生きもの調査の目的と調査の仕方&田んぼの生きもの調査(塾生と合同) |
| 2013年07月 | 7月のテーマ:イネの生育調査(幼穂調査)、生きもの調査、畦管理(除草) 生育調査 できたばかりのイネの幼穂を採取し、イネの生育具合を調査 生きもの調査 耕さない田んぼの水中や畦の生きものを調査 畦管理 畦まわりから侵入する水草の除草 |
| 2013年08月 | 8月のテーマ:イネの収量調査、畦管理(水草と野草の除草) 収量調査 頭を垂れ始めたイネの穂を採取し、イネの収量を予測 畦管理 畦まわりから侵入する水草の除草、稲刈りに備えて畦で生長した野草の除草 |
| 2013年09月 | 9月のテーマ:収穫(稲刈り)、籾の乾燥 稲刈り 一部手刈りを体験し、コンバインによる収穫を見学 籾の乾燥 収穫した米の乾燥、籾刷り施設の見学 |
| 2013年10月 | 10月のテーマ:冬期湛水の準備(水草の除草、田んぼ整備、越冬の手助け)、冬期湛水開始 水草の除草 稲刈り後、急成長し、種を作ろうとしている水草の除草 田んぼ整備 田んぼの整備(キリワラの均一化、田面の均一化)、畦の整備(畦補修、畦塗り) 越冬の手助け コメヌカ(イトミミズの餌)、ミネラル(山の土)の散布 湛水開始 湛水式 |
| 2013年11月 | 11月のテーマ:収穫祭 |
| 11月09日(土) | 懇親会 17:00-19:00 修了塾生や次年度の塾生と合同。参加費別途 |
| 11月10日(日) | 10:00-12:00 収穫祭の準備 収穫祭 12:00-13:00 食事会(参加費1人1,000円、家族友人歓迎、持ち寄り歓迎) 13:30-16:00 修了式会(修了証&修園証の授与とイネつくり感想、談義) |

「耕さない田んぼでイネつくりの市民農園」へ応募時の留意点(2)

- ⑥ 参考テキストとして「**不耕起でよみがえる**(岩澤信夫著、創森社、¥2,200 [税別])と「**週末の手植え稲つくり**(横田不二子著、農文協、¥1,500 [税別])を推奨しています。「不耕起でよみがえる」は、はらっぱ・ラボでも購入可能です。
- ⑦ 苗やイネの生長に合わせるために日程が確定してない月がありますが、それぞれの前月までにお知らせします。
- ⑧ イネつくりに必要な農具(カマなど)については、主催者が用意する農具をご利用下さい。
- ⑨ 気象条件により、圃場見学や作業の日程が変更されたり、会場や終了時間が変更されたり、また、イネの生長に合わせるために、日程を変更する場合がありますのでご了承ください。
- ⑩ 雨天時の雨具や水田用長靴の他、当日の持ち物や服装は事前にお知らせします。
- ⑪ 昼食の弁当や飲み物は各自になります。また、袋等を持参の上、「来た時よりも美しく運動」への参加をお願いします。
- ⑫ 連日の日程が組まれている日などの懇親会の飲食費用や宿泊費等は別途必要になります。
- ⑬ 了承を得ずに耕さない田んぼを見学したり、協力農家に直接連絡を取ったりすることを固くお断りいたします。
- ⑭ 故意または過失の如何に関わらず、貸し出した農機具および利用する施設などの損壊についての賠償責任、他人に対するケガ等についての損害賠償責任は各自にあるものとします。
- ⑮ 耕さない田んぼイネつくりの仲間を増やし、認知度を高める目的での取材や撮影及び放映および、関連する団体の広報活動を目的とした写真や映像の使用に同意するものとします。